

3

2025年6月1日



日本語日本文学科

Department of Japanese Literature and Language

本学で「登録日本語教員」を目指す！
国家資格制度対応の養成課程がスタート！

本学の日本語教員養成課程が、国の「登録日本語教員養成機関」及び「登録実践研修機関」として正式に登録されました。日本語学校などの「認定日本語教育機関」で外国人に日本語を教えるには、国家資格「登録日本語教員」が必要です。本課程では、その資格取得に必要な知識と実践力を体系的に学べます。

学内や海外で
教育実習を行います



▲詳しくはこちら



4

2025年度前期科目



日本語日本文学科

Department of Japanese Literature and Language

文学＋映画＋大阪万博

近現代文学を研究する友田ゼミで、短編映画「1日240時間」を観賞しました。作家の安部公房がシナリオを書いたこの映画は、1970年の大阪万博に出展された作品です。50年以上前の映画ですが、時間効率を高めようとしてますます忙しくなってしまうという展開は、今の私たちの姿とも重なります。映画をめぐって議論する

NHKの取材が
入りました！

学生たちを、NHK記者が取材しました。



▲詳しくはこちら



5

2025年9月23日



日本語日本文学科

Department of Japanese Literature and Language

福崎町立柳田國男・松岡家記念館で
フィールドワークを行いました

「方言」を通じて語彙の位相について探究することを目指し『蝸牛考』で「方言周圍論」を提唱した日本民俗学の創始者、柳田國男を学修テーマとしました。事前学修を踏まえ、福崎町立柳田國男・松岡家記念館でフィールドワークを実施しました。その後、民俗・伝承・ことばの調査方法についてまとめ、方言の観点から日本語の語彙の位相がどう捉えられるか議論しました。

「日本一小さな家」と
称された柳田國男の
生家も訪れました！



▲詳しくはこちら



6

2025年12月26日



日本語日本文学科

Department of Japanese Literature and Language

芦屋市谷崎潤一郎記念館を見学しました

塚本ゼミでは、谷崎潤一郎記念館冬の特別展「新人さんいらっしゃい！～新資料顔見世～」を見学しました。学芸員の先生から、谷崎の生涯や、近年新たに記念館に所蔵された谷崎自筆の手紙や小説原稿などの紹介をしていただきました。ゼミ生たちは、「墨で塗り潰された跡などが生々しく、興味深かった」といった感想を持ち、自筆資料を見る意義を学んだようです。

教室の外で
学ぶことも面白い！



▲詳しくはこちら



7



英語英米文学科

Department of English Literature and Language

秋元ゼミ オープンセミナー 1

2025年6月19日

英語英米文学科にて志水昭生先生(米ウィルクス大学准教授)を招いたオープンセミナーを開催しました。甲南大学OBでもある志水先生は、異色の経歴をもとに「和食」を切り口として文化の真正性を問い、対話型の授業が展開されました。学生からも多くの意見や質問が出され、理解と考察が深まる機会となりました。

講演のタイトルは
「神戸からアメリカ、
アメリカから神戸・ソトとウチから見る日本」



▲詳しくはこちら



8



英語英米文学科

Department of English Literature and Language

秋元ゼミ オープンセミナー 2

2025年6月27日

City University of New York, Baruch College 現代語学比較文学科准教授の鈴木・CJ・繁先生を招き、オープン・セミナーを開催しました。北米で文学として注目されるコミックスを題材に、そのメディア特性や自己表現の可能性を解説されました。身近なマンガを学術的に読み解く視点が示され、学生の関心と議論を深める有意義な機会となりました。

漫画ってどういうふう
に研究するの？



▲詳しくはこちら



9



英語英米文学科

Department of English Literature and Language

上林ゼミ・海外移住と文化の交流センター・ 移住ミュージアム見学会

2025年7月12日

2025年7月12日、文学部英語英米文学科・上林ゼミは、海外移住と文化の交流センター・移住ミュージアムを見学しました。楠正暢さんの解説により、日本から中南米への移住の歴史や移住者の不安や生活を学び、展示資料を通して神戸とブラジルのつながりへの理解を深める有意義な機会となりました。

テーマは
「食べ物から世界各地の
つながりを考える」



▲詳しくはこちら



10



英語英米文学科

Department of English Literature and Language

甲南大学英語英米文学会主催 「英語サミット」開催

2025年12月17日

英語英米文学科では、学生・教員が参加する英語英米文学会(KEALL)が活動しています。12月17日にその最大行事である「英語サミット」が開催され、卒業生である高田理那さん(読売新聞記者)の講演とクラス対抗クイズ大会が実施されました。在学生にとって将来を考える貴重な刺激的で楽しい機会となりました。

講演とクイズ大会で
盛り上り!



▲詳しくはこちら



11



社会学科

Department of Sociology

兵庫県の課題をデータサイエンスで解決する
「ひょうごビジョン2050」出前講座

2025年4月28日

調査データの分析手法を学ぶ科目「量的データ解析」を履修する学生を対象に、兵庫県庁職員による「ひょうごビジョン2050」出前講座が開かれました。この日は地域の課題や県が行うアンケート調査の目的、データ活用について学び、若い世代の支援策などについて意見を出し合いました。授業では学んだ分析手法を用いてデータの分析、レポートの作成も行います。



▲詳しくはこちら



地域の課題を
学びます

12



社会学科

Department of Sociology

都市政策の変遷を社会学の視点で探る
発展研究D(くらしと地域I)

2025年度前期科目

1・2年での学びを実践していく科目「発展研究D(くらしと地域I)」では、神戸市の都市政策を社会学の視点から考えます。まず講義を通して地域社会学の理論や都市政策の変遷を理解してから、グループに分かれて都市の再開発、子育て支援など具体的な政策を過去から現在まで調査・分析。資料収集やフィールドワークを経て発表し、地域課題の理解を深めました。



▲詳しくはこちら



時には教室の外へ!

13



社会学科

Department of Sociology

「こどもとスポーツ」のフィールドワーク
「社会調査実践研究」の紹介

2025年度通年科目

社会学科の3年生が履修する「社会調査実践研究」の授業では、調査の企画から報告書の完成まで約1年を費やしなが、社会調査に必要な技能を習得していきます。2025年度は「こどもとスポーツ」をテーマに、岐阜県飛騨市神岡町の地域スポーツクラブで調査を行い、現場での観察・聞き取りを通して学びを深めました。



▲詳しくはこちら



神岡町の風景と
みんなで食べたアイス

14



社会学科

Department of Sociology

自分の物語を動画で語る
「創作過程論」の作品上映会を行いました!

2026年1月15日

「創作過程論」において学生たちが動画編集の基礎を学び、自分の体験や思いをデジタル・ストーリーテリングとして表現する作品を制作しました。「自分の物語」を見つけるグループワーク、ナレーション原稿の作成などを経て、2025年度は14人が作品を制作し、最後の上映会で「ベスト作品」を選びました。



▲詳しくはこちら



映像編集ソフトを
使って動画を
制作します

15



人間科学科

Department of Human Sciences

2025年11月14日

西ゼミで沖縄へ
フィールドトリップに行きました!

人間科学科の西ゼミは10月に沖縄でフィールドトリップを行い、現地の学生や住民と交流しながら、沖縄戦の歴史と現在の基地問題について学びました。沖縄国際大学を訪問し、戦跡見学やレクチャー、少人数での意見交換を通して、基地に隣接する大学ならではの現実や、課題とともに感じられる複雑な思いへの理解を深めました。

沖縄でフィールドトリップ



▲詳しくはこちら



16



人間科学科

Department of Human Sciences

2025年12月1日

甲南映画祭'25『災いに向き合う』富田克也監督
『典座-TENZO』上映+トークイベント開催

甲南映画祭'25において、人間科学科のファヨル入江講師は、東日本大震災後の日本の精神性を二人の僧侶の視点から描いた、富田克也監督『典座-TENZO』を上映しました。上映後には、主演の曹洞宗僧侶・河口智賢氏と倉島隆行氏を迎え、僧侶としての生き方やこの30年間の震災を振り返り、被災地での活動について語るトーク

左から河口智賢氏、
倉島隆行氏

イベントが行われ、来場者にとって深く考える機会となりました。



▲詳しくはこちら



17



人間科学科

Department of Human Sciences

2025年12月4日

大澤ゼミで公認心理師を目指す学生たちが
カフェのある心理カウンセリング施設を見学しました

人間科学科・大澤ゼミでは、公認心理師を目指す学生がカフェ併設の心理カウンセリング施設「京都こここてま」を見学しました。公認心理師/臨床心理士である別司ちさと先生から、施設設立の思いや活動内容を伺い、安心してできる相談空間や地域に開かれた心理支援の在り方を学び、将来のキャリアを考える貴重な機会となりました。

心理士さんの
温かな思いに触れる
貴重な体験になりました!



▲詳しくはこちら



18



人間科学科

Department of Human Sciences

2026年1月16日

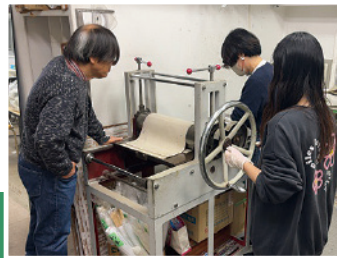
服部ゼミで銅版画体験

人間科学科・服部ゼミでは、西宮市の版画工房「アトリエ凹凸」で銅版画の体験学習を行いました。プロの指導のもと制作工程を実践し、版画の理解を深めるとともに、アートと社会のつながりを考える機会になりました。腐食銅版画に初めて触れる学生も多く、貴重な創作体験となりました。

アトリエで体験学習



▲詳しくはこちら



19



歴史文化学科

Department of History and Culture

高田先生最終講義 & 学科創設25周年記念の会

2026年2月28日

うちの名物教授、高田先生の最終講義「近代イギリスと相互扶助：生を支えた共同性の変容」が行われ、多くの在校生・卒業生が集まってくれました。また今年は学科創設25周年にあたるため、それを記念する会も盛大に開かれました。これだけ大勢の歴文OB・OGが集まる会は未だかつてなく、学科の伝統がしっかりと受け継がれていることが実感されます。

懐かしい面々が
大勢集まりました!



▲詳しくはこちら



20



歴史文化学科

Department of History and Culture

南京町フィールドワークとパンフレット制作

2025年5月22日

新見ゼミでは、南京町とその周辺をフィールドワークし、ガイドマップを作成しました。4月から計画を立て、5月に実際に訪問。6月と7月で冊子の制作に取り組みました。南京町の歴史、オブジェ、関帝廟について調査した班もあれば、食べ歩きをしてお勧めのお店を紹介した班もあり、それぞれ楽しいパンフとなりました。

個性あふれる
ガイドマップは
学科図書室に展示中



▲詳しくはこちら

21



歴史文化学科

Department of History and Culture

たつの市フィールドワーク

2025年11月9日

毎年基礎演習IIの授業では、1年生全員で日帰りバス巡検を行います。今年のはたつの市の城下町に行きました。学生たちは事前に情報を集めて見学ルートを決め、龍野城や龍野神社、うすくち醤油資料館、赤とんぼ歌碑など様々な名所を訪れました。見学後の授業では班ごとの発表も行い、充実した巡検旅行となりました。

龍野の城下町は
醤油と
「赤とんぼ」で有名



▲詳しくはこちら



22



歴史文化学科

Department of History and Culture

歴文のいまを知る 「歴らぼ通信」と「歴らぼのWEBサイト」

通年

学科の魅力が詰まった
「歴らぼ通信」は
10号館5階で配付中

「歴らぼのWEBサイト」では学科の様々な活動を紹介中。講義やゼミの内容、「歴らぼ」活動、学生や教員の取組など、多くの記事を掲載しています。またそれらは「歴らぼ通信」として定期的に発行しており、2026年2月現在で25号となりました。記事は随時追加されるので、歴文の今を知ることができます。みなさんぜひご覧ください!



▲詳しくはこちら